

情報収集： 久保田潔教授（東京大学大学院医学系研究科・薬剤疫学）

◆ 韓国訪問

- Health Insurance Review Agency (HIRA) 訪問
- Department of Preventive Medicine, Seoul National University College of Medicine 訪問

◆ 米国訪問

- FDA White Oak Campus 訪問
- Harvard大学訪問
 - Dr. Brown (HMO Network)
 - Dr. Setoguchi (種々の北米データベースを用いた研究)
- i3 Drug Safety 訪問

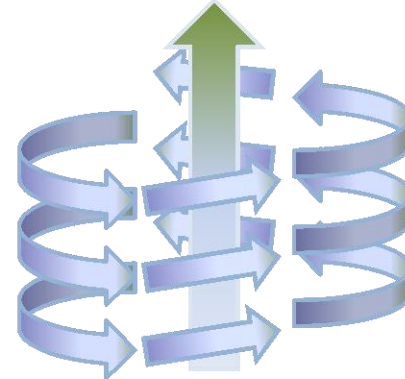
◆ 台湾訪問予定

平成21年度第2回研究班会議(12月7日開催)において
100に達するスライドにて報告

市販後医薬品の恒常的安全対策を
支える情報基盤創設の根拠

ご清聴、ありがとうございました

レセプト等の医薬品の市販後安全対策のための
具体的活用方策を検討



◆ 韓国、台湾及び米国の医療費請求データによるデータベースについての
文献情報等の収集

諸外国の
活用状況

◆ 重複投薬や併用禁止薬の併用など
の把握
◆ 有害事象発生の探索的検討

方法論
の検討

◆ ハッシュ関数を用いた匿名化識別子によるレセプト情報と
電子カルテ用の医療情報との連結可能性
◆ 臨床診断との照合によるレセプト病名の妥当性の確認方法
の検討

内容的な
検討

電子カルテ等
の医療情報

健康保険組合
レセプトデータ

レセプト等を利用した薬剤疫学データベース作成